

平成 27 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

基本目標 2 新たな魅力と活力を創出し、交流するはつかいち
 政策目標 4 はつかいちならではの個性を育み、誇り・愛着が持てるまちに
 重点的取組 1 市民の多様な活動を支え、自己実現のできる環境にする

担当課名	教育部 生涯学習課		
予算科目	会計	01	一般会計
	款	09	教育費
	項	06	保健体育費
	目	02	体育施設費

事業名	体育施設整備事業	事業開始年度	平成 19 年度
	体育施設の安全性の向上を目的とした整備事業	根拠法令 条例 個別計画等	サッカー場設置及び管理条例、サッカー場管理規則

1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	子どもから高齢者まで全ての市民	廿日市市におけるスポーツの普及発展並びに市民の健康増進及び体位の向上を図るため、気軽に市民がスポーツに親しむことができる場を提供する。

2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	市役所(職員)の役割	関係団体(パートナー)	関係団体(パートナー)の役割
市	スポーツ施設を整備し、安全性を保ち、市民が活動する場を提供する	指定管理者	・社会体育施設等の円滑な運営 ・利用者へのサービス、安全管理の向上

3 平成 27 年度 決算（事業の内容・コスト情報・目標到達見込）

実施した事業の内容(活動実績)	・事業の内容 廿日市市サッカー場の人工芝を張替えると同時に人工芝の下にアンダーパッドを敷設し、人体への衝撃を緩和できるような仕様により改修工事を、平成28年1月～3月の間実施した。 人工芝の製品選定にあたっては選定委員会を設置のうえ、「安全性」「耐久性」「熱中症対策」「メンテナンス面」などをメーカーのプレゼンテーションで判断し、製品指定による条件付競争入札により施工者を選定のうえ、可能な限り経費の圧縮に努めた。 また、リニューアルにより、日本サッカー協会の公認ピッチを再取得した。 財源面では、自主財源の圧縮を目指し、日本スポーツ振興センター（toto）助成金とは別に、トップセールスによる日本サッカー協会への助成要望を行い、追加の助成を受けることができた。 なお、工事完了後の供用開始前に廿日市市サッカー協会の協力を受け、FC今治と廿日市FCのトレーニングマッチやFC今治のコーチによる小学生対象のサッカー教室を開催した。（スポーツ振興事業）						
	【歳入】 サッカー場整備助成金（toto助成） 24,000,000 円 サッカー場整備助成金（JFA助成） 20,000,000 円 【歳出】 工事請負費 サッカー場人工芝張替本体工事ほか（公認検査料含む） 119,100,240 円 事務事業委託料 サッカー場周辺環境整備業務（支障木選定及び除草） 432,000 円 特別旅費 人工芝製品検査（大阪府堺市） 22,900 円						
コスト情報(円)	項目		平成 26 年度決算	平成 27 年度決算①	①のうちH26から繰越	H27からH28へ繰越	
	財源内訳	直接事業費 A		119,555,140			
		国庫支出金					
		県支出金					
		借入金(市債)					
		その他(使用料など)		44,000,000			
		市(市税など)		75,555,140			
	人件費(按分) B	人	0.20 人				
	総事業費(A+B)		121,246,740				
ト換算	①	人口(4月1日現在)	117,182 人	117,128 人			
	②	市民1人当たり		1,035			
到達目標	活動及び成果指標		単位	H26実績値	H27目標値	H27実績値	備考
	活動	サッカー場人工芝張替工事	千円		135,000	119,556	
	成果	サッカー場利用人数	人	70,070	50,000	51,979	工事のため、4月～12月の9か月実績値